令和8年11月4日

関係者各位

アフリカ連合日本政府代表部
経済・開発協力班

当代表部では、アフリカ各国に関連するビジネス・ニュースに加え、民間セクター及び関係機関に有益と思われるトピックをまとめたアフリカ経済月報を配信しております。ビジネス・トレンド、経済動向、投資環境や法規制など、アフリカでビジネスを展開中、または進出を検討している方々のお役に立てればと思っております。また、当代表部ではウェブサイトに加えて、以下のX(旧 twitter)のアカウントでも情報を発信しておりますので、フォロー及び拡散いただけますと幸いです。

当代表部ウェブサイト:https://www.au-mission.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html
同 Xアカウント:https://x.com/mission_japan

配信内容へのご意見或いは新規登録希望の方は以下のアドレスに
組織名、氏名、役職をご記入の上お願いします。
keizaikaihatsu@ua.mofa.go.jp

■東部アフリカ

(1)【エチオピア】金加工事業拡大を視野に 600 トンの貴金属精錬所を開設

エチオピアは、年間600トン以上の貴金属を処理できる精錬所を開設した。これは、アフリカの金生産業者を誘致し、鉱物資源の付加価値をより多く国内に留保することを目指すものである。このプロジェクトは、エチオピア・インベストメント・ホールディングスとドバイに拠点を置くサム・プレシャス・メタルズが共同で進めている。同精錬所では金および銀の地金を生産し、アフリカ全域で顧客を開拓していく予定である。

https://africa.businessinsider.com/local/markets/ethiopia-opens-600-tonne-precious-metals-refinery-as-it-targets-africas-gold/623fz9f

(2)【ケニア】エチオピアからの電力輸入倍増と、輸入依存度の高まり

エチオピア国内で電力へのアクセスに大きな格差が生じているにもかかわらず、ケニアは電力系統への負担を軽減するため、2026年末までにエチオピアからの電力輸入量を現在の2倍時に引き上げる計画。 ケニア・パワー社は2022年、エチオピアの国営電力会社エチオピア・エレクトリック・パワー(EEP)と25年間の電力購入契約を締結していた。

https://www.intellinews.com/kenya-s-reliance-on-ethiopian-electricity-grows-with-peak-imports-set-to-double-475000/

(3)【ルワンダ】200MWの浮体式太陽光発電・BESS プロジェクトの開発業者を募集

ルワンダの国営電力持株会社であるルワンダ・エナジー・グループ・リミテッド(REG)は、4時間の蓄電能力を備えたバッテリーを併設した200MWの浮体式太陽光発電所の開発に向けた事前資格審査の募集を開始した。 同社の子会社であるエナジー・デベロップメント・コーポレーション・リミテッド(EDCL)により、同プロジェクトの開発に関心を持つ独立系発電事業者(IPP)候補を選定する予定。

https://renewablesnow.com/news/rwanda-seeks-developers-for-200-mw-floating-solar-bess-project-1303214/

■西部アフリカ

(4)【チャド】アフリカ開発銀行、太陽光発電プロジェクトに対し初回融資を実行

アフリカ開発銀行（AfDB）は、チャドのQair社が開発するガッシおよびラマジのハイブリッド太陽光発電所がファイナンシャル・クローズおよび初回融資の段階に達したと発表した。これは、サヘル地域全域における同銀行の旗艦イニシアチブである「Desert to Power」及びMission 300」にとって、具体的な前進となる。 30MWのハイブリッド太陽光発電所と8MWhの蓄電池を組み合わせたこのプロジェクトは、サヘル地域全体で1万MWの太陽光発電容量を確保し、電力へのアクセスを拡大することを目指す「M300」および「デザート・トゥ・パワー」プログラムにおけるさらなるマイルストーンとなる。

https://www.afdb.org/en/news-and-events/press-releases/chad-african-development-bank-reaches-first-disbursement-qairs-gassi-and-lamadji-solar-projects-advancing-desert-power-and-mission-300-initiatives-97232

(5)【リベリア】グリーン・シティーズ社と農業レジリエンス・プロジェクトを開始

グリーン・シティーズ社（GCI）は、「アクション・アゲインスト・ハンガー（AAH）」及び「セイ・ノー・トゥ・ハンガー農民協同組合」と提携し、リベリアにおける食料安全保障の強化、世帯の栄養状態の改善、および環境的に持続可能な農業慣行の促進を目的とした、37．5万ユーロ規模の農業イニシアチブを開始した。

https://allafrica.com/stories/202610050321.html

(6)【ガーナ】テマへの 278km のガスパイプラインを計画

ガーナ・ナショナル・ガス・カンパニー・リミテッドは、同国のガス供給インフラを拡充し、産業発展を支援するため、西部地域からテマまで、全長278キロメートルの高圧ガス・パイプラインを建設する計画を進めている。 このプロジェクトにより、西部、中部、東部、グレーター・アクラ各地域の産業が国内ガス・ネットワークに接続される見込み。

https://allafrica.com/stories/202610190285.html

(7)【ガーナ】中国の華友社がガーナのリチウム事業権益22．5%を確保

中国の浙江華友コバルトは、アトランティック・リチウムのガーナ事業ポートフォリオにおける22．5%の権益を確保し、エウォヤ（Ewoyaa）プロジェクトの開発に向けてさらに6．6千万米ドルの拠出に合意。

https://africa.businessinsider.com/local/markets/chinas-huayou-secures-225-of-ghana-lithium-portfolio-and-commits-another-dollar66/5tc27wc

(8)【トーゴ】エコバンク、中国人民元国際決済システムと提携

スタンダード・バンクやアフレキシムバンクに続き、ロメに拠点を置くエコバンクは、アフリカ34市場における人民元建て貿易決済を拡大する。中国・アフリカ間の貿易が過去最高を記録する中、その広範な国境を越えたネットワークの拡大が進んでいる。

https://www.theafricareport.com/433438/ecobank-partners-with-chinas-cips-to-deepen-yuan-trade-settlements-across-34-african-markets/

■南部アフリカ

(9)【モザンビーク】インドネシア、モザンビークでのキャッサバ加工への投資を検討

インドネシア貿易省は、同国の農産物の付加価値を高めるため、特にキャッサバ加工産業の発展において、モザンビークとの投資協力の機会を模索している。この協力には、栽培技術の活用、生産性の向上、およびキャッサバ加工施設の整備が含まれる。これらの取り組みにより、投資を呼び込み、インドネシアとモザンビーク間の経済関係を強化することが期待されている。

https://en.antaranews.com/news/436169/indonesia-explores-cassava-processing-investment-in-mozambique

(10)【南アフリカ】南アフリカのウールワース、大手食品メーカーの買収を承認

南アフリカのウールワースは、大手サプライヤーin2foodの買収について規制当局の承認を得た。同小売業者は食品事業の強化を図り、スーパーマーケットの棚を超えた成長を追求している。同社は8千人以上の従業員や、1，400種類以上の製品を生産している。この買収により、ウールワースは食品生産に対する支配力を高め、さらなる外食産業および輸出事業への参入が可能となる。

https://africa.businessinsider.com/local/markets/south-africas-woolworths-cleared-to-take-over-food-producer-with-8000-workers-and/xhc29wz

(11)【南アフリカ】ノーザン・ケープ州のプリエスカ銅・亜鉛鉱山開発で資金調達進む

オリオン・ミネラルズ社によると、南アフリカの鉱物資源に恵まれたノーザン・ケープ州で再稼働が進むプリエスカ銅・亜鉛鉱山において、来年末の銅・亜鉛生産開始を目標としていることが分かった。スイス鉱山開発大手のグレンコアなどによる融資もあり、現場への人員・機材の投入、および建設工事が進められている。

https://www.miningweekly.com/article/40m-for-prieska-copper-zinc-mine-development-in-south-africas-northern-cape-2026-10-19

(12)【南アフリカ】中国自動車メーカー、日産の旧工場を買収後、初の現地生産 SUV を発表

中国自動車メーカーの奇瑞（Chery）は、クロスオーバーSUV「OMODA　C4」の現地生産開始を目前に控えており、152億米ドルの規模を誇る同国の市場でのシェア拡大を目指す。

https://africa.businessinsider.com/local/markets/chinese-automaker-unveils-first-locally-built-suv-in-south-africas-dollar152-billion/nq7qv73

■北部アフリカ

(13)【モロッコ】モロッコにおけるインドの防衛企業の工場設立

インドの　傘下の防衛企業MKUは、防弾チョッキ、防弾ヘルメット、電気光学センサーを生産する工場をモロッコに建設し、同拠点をアフリカ諸国への輸出拠点として活用する計画。同社によると、この施設はカサブランカ南部のヌアセルにあるSGZIDゾーンに立地する予定である。 同社は、工場の規模、投資額、雇用数、生産開始時期については明らかにしておらず、これらの詳細は後日発表されるとしている。

https://defence-blog.com/morocco-gets-another-indian-defense-factory-this-time-mku/

（14）【モロッコ】欧州航空機大手エアバス、モロッコにヘリコプター整備工場を建設予定

エアバスは、モロッコに第３工場を建設し、西アフリカにも対応可能なヘリコプター整備事業を開始する計画であり、これにより同国が欧州の航空機メーカーの生産・サービスネットワークにおいて果たす役割が拡大することになる。計画中の施設の面積は約６．９千平方メートルとなる見込み。

https://africa.businessinsider.com/local/markets/airbus-plans-third-factory-in-morocco-as-european-aircraft-giant-expands-production/70qk114

（15）【エジプト】米エネルギー大手シェブロンと共に大規模な沖合石油・ガス探査を実施

エジプトは、地中海における原油および天然ガスの探査に向け、米エネルギー大手シェブロンから最低８．８千万米ドルの投資を確保する新たなエネルギー協定を締結した。この協定は、国内の石油・ガス生産を拡大し、国の探査範囲を広げるというエジプトの戦略の一環である。

https://africa.businessinsider.com/local/markets/africas-second-largest-economy-secures-dollar88-million-from-us-energy-giant-chevron/8jmvw1t